

1) 金原武司, 鍛治友昭, 大槻典男, 佐野勉, 瀬戸勇, 川島愛雄, 福代良一, 山岸高由, 尾角信夫, 北村清隆, 藤田幸雄: 皮膚の *Mycobacterium marinum* 感染症. 皮膚臨床 20: 8796, 1978.

2) 山岸高由, 小西健一, 吉田知孝, 伊川和美, 佐藤ひめ子, 松田知夫, 尾角信夫, 金原武司: 皮膚結節および熱帯魚水槽中の抗酸菌について. 金大医短紀要 2: 117-121, 1978.

4. その他

1) 山岸高由, 小西健一, 尾角信夫, 吉田知孝, 松田知夫, 金原武司: 皮膚結節由来の非定型抗酸菌について. 日細誌 33: 554-555, 1978.

2) 山岸高由, 高橋謙太郎, 高畠学, 高折雅章, 中村信一: 乳幼児, 成人および老人の糞便菌叢について. 日細誌 33: 560, 1978.

ウイルス学

教授 庭山清八郎
助教授 落合宏
助手 林京子

1. 研究概要

1) インフルエンザの流行様式と遺伝学的特性についてここ10数年来, 赤血球凝集試験, 赤血球凝集抑制試験および交差吸収赤血球凝集抑制試験を基礎とする抗原分析を通じて研究を行ってきた。これらの結果はインフルエンザの流行予測とワクチン製造の面に強く反映されてきた。今後更に研究を進展させ発育鶏卵と組織培養法を併用してインフルエンザウイルスの特異蛋白と核酸の分析を通じて, 本ウイルスの増殖様式と変異の分子機構について研究を行なう。一方ヒト以外の動物(トリ, ブタ)のインフルエンザウイルスについても同様の実験を行ない, ヒトの流行におよぼす動物由来ウイルスの役割について研究を行なう。

2) 各種ウイルス感染症(特に風疹, ヘルペス, ロタ, パラミクソ)のウイルス学的検索, 血清学的検索を行なう。

3) 制癌剤, 抗ウイルス剤の開発: 人癌由来確立細胞系を使って各種制癌剤の感受性測定を寒天平板拡散法によって行ってきた。本方法の臨床応用の検討と共に, 土壌由来放線菌, 真菌, キノコ等の産生する制癌物質の開発を行なう。抗ウイルス剤についてはエッグシェルカルチャ法によって同様の実験を行なう。

2. 学会報告

1) 芝田充男, 岩瀬勇雄, 庭山清八郎: 1978年分離したA(H₃N₂)型および(H₁N₁)型インフルエンザウイルスの抗原分析について, 第26回日本ウイルス学会総会, 1978. 10, 東京.

2) 芝田充男, 阿部昭也, 落合宏, 庭山清八郎: 非細菌性急性胃腸炎患者に対するNCDVならびにReo virus like agentによるHA, HI試験について, 第15回日本細菌学会中部支部総会, 1978. 10, 名古屋.

3. 原著

1) 芝田充男, 篠川至, 庭山清八郎, 岩瀬勇雄: Aブタ1型インフルエンザウイルスの分離と疫学調査. 日本医事新報 2841: 43-49, 1978.

2) 古泉快夫, 庭山清八郎, 仁田原義之, 宮村定男: 紅麴菌産生色素の毒性について. 新潟医学会雑誌 92: 815-820, 1978.

3) 庭山清八郎, 落合宏, 芝田充男, 阿部昭也, 宇野由紀子, 岩瀬勇雄, 佐藤征也: 蛍光抗体法によるインフルエンザの迅速診断に関する研究. 新潟医学会雑誌 92: 838-844, 1978.

薬理学

教授 中西穎央
助教授 武田龍司
助手 百瀬弥寿徳
助手 山崎弘美
文部技官 奥村慶子

1. 研究概要

1) 中西穎央・山崎弘美・奥村慶子: ①アルコールならびにアルデヒドの薬理, ②ラット肝アルデヒド脱水素酵素についての研究, ③ラット肝ミクロゾームのmixed-function oxidase systemについての研究.

3) 武田龍司・百瀬弥寿徳: アルコールならびにアルデヒドの薬理①平滑筋の電気活動および収縮運動に対する薬理作用の研究, ②中枢神経系ニューロンに対する薬理作用の研究.

2. 学会報告

1) 中西穎央, 山崎弘美, 奥村慶子, 塩原あい子, 塚田美代子: Trichloroethylene 処置ラットにおける肝aldehyde dehydrogenase 活性と血中acetaldehyde レベル, 第51回日本薬理学会総会, 1978. 3, 仙台.

2) 奥村慶子, 山崎弘美, 中西穎央: Chloral hydrate ならびにtrichloroethanolのラット肝NAD